

「さらなるまちづくり推進」にむけた ICT システムの構築 (中間報告)

令和2年11月10日
毘沙門台学区社会福祉協議会

1. 毘沙門台学区社会福祉協議会の概要

1. 歴史

当団体は、1980年(昭和55年)に社会福祉事業法に基づいて設立した団体です。
 当協議会は2015年(平成28年)に広島市から貸与された消防職員待機住宅跡を学区内の第二次交流地点として様々な活動をし、全国から多くの方々が視察に来られています。

1. 団体構成

団体名
1 社会福祉協議会
2 毘沙門台町内会
3 第二毘沙門台町内会
4 毘沙門台東町内会
5 民生員児童委員協議会
6 体育協会
7 青少年健全育成協議会
8 子ども会連合会
合計: 19 団体

2. 世帯構成

毘沙門台の概要		令和2年7月末 世帯数・人口					
町内会		世帯		人口		65歳以上	
		世帯数	構成比	人口	割合	人口	割合
毘沙門台	*S49	1,337	46.7%	3,145	45.2%	1,155	36.7%
第二毘沙門台	*S54	1,057	36.9%	2,429	34.9%	1,018	41.9%
毘沙門台東	*H7	471	16.4%	1,385	19.9%	195	14.1%
合計		2,865	-	6,959	-	2,368	34.0%

*分譲開始年 S: 昭和 H: 平成

2. ICT 化の背景

1. With Corona 広島市の指針

- ① 感染防止 (3密を避ける)
- ② 移動の自粛
- ③ 混雑を避け会話を控える
- ④ テレワークの促進
- ⑤ 会議はオンラインを活用

2. 世間では

- ① DXの推進
- ② デジタル庁創設の動き
- ③ 国税調査はネットで入力を要請
- ④ オンラインライブ

3. 全国の統計 (平成29年)

- ① 65歳～69歳の方の45.3%が就業
 - ② 70歳～74歳の方の27.6%が就業
 - ③ 75歳以上の方の9%が就業
- ⇒ 自治会等の地域活動への参加者は減少傾向

4. 自治会の課題

過去の企画書、議事録等が共有されず後継者へ引き継がれていない。

★自治会の ICT 化
が求められている

3. 活動状況

3. 活動の状況

(1) 愛称

ICTの愛称を以下に決定しました。



毘沙門台学区全体の取組を表します。

(3) 費用の捻出

支援金申請額(53万円)に対し、補助金が21万円になり、以下を検討しました。

① システム構成の検討



- ② 制限のある現在使用中の Microsoft Teams を当面使用し将来拡張する。(TV 会議、チャット)
- ③ パッケージ(Circle Square)を使用し費用を抑えた。
- ④ 他団体が設置している NAS を借用し各団体が作成している文書類を格納することで費用を削減した。
- ⑤ 画像処理用 PC を今回の「まちづくり活動支援基金」で購入した。
- ⑥ 取組状況
 - イ. NAS のフォルダを作成し各団体がデータを格納する体制が整った。
 - ロ. Teams を使用した TV 会議の試行を行った。
 - ハ. 関係者に Teams, Circle Square の勉強会を実施した。今後も実施する。また、スマホ教室を実施。

(4) 今後の予定

- ① 今年度: データを格納する(ADF 機能を有するプリンタを整備しデータ入力の効率化を図る)。
- ② 来年度以後: TV 会議の実施のための機器(プロジェクタ、スクリーン、PC の調達)を整備。

4. 課題

- (1) 機器整備のための資金確保
- (2) 運用実施資料の作成(人手が不足)
- (3) 各団体への周知・勉強会
- (4) 住民の ICT 化教育